

「10年で150万円所得増」とウソ宣伝する安倍首相

アベノミクスの毒矢の一つ「成長戦略」で安倍首相は、「10年間で一人あたり国民総所得（GNI）を150万円増」と各地の演説で喋っているという。聞きなれない「GNI」とは企業や国民が国内外で稼いだ所得の合計。日本企業が世界中に進出、ビジネスをやるようになりこれまでの国内総生産（GDP）に、海外投資で得られる利子や配当も加えたものである。その総額を人口で割れば「一人150万円」となるだけの話。「国民総所得」という言葉でいかにも「所得が増える」かのように演説、平然と「GNI」を国民の「平均年収」、「みなさんの所得」とまで言い換えたウソ宣伝を日刊赤旗がしばしば批判しています。

テレビで聞いた人から「10年後150万円も年収が増える言うけどホンマか」との質問も。アベノミクスには国民の所得を増やす矢は1本もなくすべて資産家や財界・大企業優遇の矢です。それを正反対に宣伝するのは、アベノミクスが早くも破たんし始め、株価は乱高下で制御不能に陥り「これでは選挙を乗り切れない」とごまかし始めたのです。安倍首相は経済学のそもそもの知らないで言っているならその頭脳が問われるし、知っていてすり替えたのなら「語り口で欺くさ」と国民を見下した傲慢な態度だ。（編集室）



アベノミクス5本の毒矢

県会議員 奥村のり子の しん 赤旗 読者ニュース

2013年6月23日 第89号

—奥村のり子生活相談所—
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11
電話&FAX 073-427-7121



←投稿・砂山地区 H・Eさん

のり子の一般質問は21日です

私の一般質問日は6月21日の4番目ということになりました。19日の初日に希望していたところ、希望者が多く叶いませんでした。

県議会では一般質問の持ち時間が当局の答弁時間を含め1時間しかありません。今回は先週、お知らせした生活保護制度についての質問の他、3項目にわたってしようと思っておりますが時間の関係でうまく行くかどうか心配です。ぜひ、応援にきてください。

5月末に私の事務所に中村あさとさんあてのがきが届きました。一部紹介します。「毎日がんばっておられることと思います。」

水軒の友人は津波がくると高い建物が一つもないと困っています。有効な対策を立てて下さい。」ということが書かれていました。多くの方が同様な不安を

生保・医療行政 津波対策など質問

もたれていることだと思えます。そこで、県の問題でもあることなので質問項目に入れました。

国会では12日山下よしき参議員が災害特別委員会では津波発生時の高齢者や障害者の避難支援体制の強化を求めています。

私も住民の不安の声をしっかり受け止め防災対策をすすめるよう求めて行きます。

みなさん、どんどんお声を届けて下さい。（のり子）



おしらせ

（主なもの）

- 22日 医療生協総代会、地域訪問
- 23日 障害者九条の会、地域訪問 ハンドマイク宣伝
- 24日 一般質問 松坂県議
- 25日 常任委員会、福祉環境委員会懇親会
- 26日 常任委員会、年金者組合総会
- 27日 本会議、医療関係者後援会決起集会、無料生活相談日

脳脊髄液減少症

6月議会で、脳脊髄液減少症について一般質問しました。

脳脊髄液減少症は、交通事故やスポーツ事故などにより脳脊髄液が漏れだし頭痛、頸部痛、めまいなど、様々な症状を引き起こす病気です。治療に有効とされている硬膜外自家血注入療法（ブラッドパッチ療法）は保険適応外です。患者の方は高額な医療費と認知度が低いために苦しんでおられます。2010年4月以降、検査のみ保険適応となりました。国は、発症機序や検査方法、治療法について、調査研究班を設置し、その成果として、ブラッドパッチ療法が先進医療として認められました。しかし治療費

私の質問に「大変重要、周知徹底、調査、国へも要望」と

は高額です。学校の児童生徒もクラブ活動などで発症しています。調査研究班の症例には18歳以下が1人も含まれておらず、症例の収集が急がれます。

私は、「脳脊髄液減少症」について「広く周知してもらいたい」「特に18歳までの症例が少ないことから、学校の児童生徒がこの病気で苦しむことがないよう調査の必要がある」「各学校へは文書だけの指示ではなく積極的な取り組みが必要」「学校保健安全法の対象に脳脊髄液減少症を加えるよう要望してもらいたい」と質問しました。

教育局長は「各学校に対し疾患の疑いのある児童生徒の調査を行いたい。」「小学校・中学校校長会で教職員への周知を指示する。養護教諭の研修会等で認識を深めていきたい。保護者へも周知したい。」、また、教育局長は「脳脊髄液減少症に対する児童生徒への対応は大変重要。中核市教育長会等に対し、新たな国への要望事項の一つとして提案する」と答弁しました。今後もし引き続き取り上げたいと考えています。

党市議会議員 南畑幸代



リレートーク

Relay talk

リレートーク

Relay talk